JTB旅ホ連特集

JTB広域代表
宿泊増売と地域の活性化へ

関西広域代表
常務執行役員　宇田川　雄彦　氏

広域連携でビジネスチャンス拡大

関西(西日本)では広域連携が非常に重要だ。関西広域連合(関西2府4県+鳥取県、徳島県)によるインバウンド誘致の継続実施をはじめ、関西＝中国四国、北陸、伊勢志摩、中部地域とのさまざまな連携が進んでいる。

4月に関西3空港(伊丹・関西・神戸)の一体運営がスタートしたが、これは関西地域だけにお客さまを誘客するのではなく、各空港を玄関口として周辺広域地域への人流を図っていきたい。

宿泊増売についてはJTB西日本支部連合会の皆さま、JR、航空、貸し切りバスなど運輸機関の皆さまとの関係を一層強固にし、各行政とも連携を強め西日本仕入商品企画部が中心となり地域の魅力の掘り起こしを進め「JTBならではの価値」のある商品を販売チャネルに合わせて造成し国内外のお客さまに販売することで目標を達成していきたい。開催中の「日本の旬瀬戸内・山陰」の加重商品の強化、下期の「日本の旬北関東」の団体先行営業の強化など法人・個人・グローバルを問わず事業パートナーの皆さまと販売サイドの「架け橋」となれるよう「コミュニケーション」を第一に汗をかいていきたい。

九州広域代表
執行役員　桂原　耕一　氏

九州はひとつ、独自の価値創出へ

「九州」の名前の由来には、「豊前・豊後・筑前・筑後・肥前・肥後・日向・大隅・薩摩」この九つの国の総称だと言われている。現在の九州は七つの県で構成されているが、それぞれの地域が独自の「伝統」「文化」を受け継ぎ、「食」「名勝地」「温泉地」などもバラエティに富み、観光地としては極めて恵まれている地域だ。

光客は回復をし、今年はNHK大河ドラマ「西郷どん」、「肥前さが幕末維新博覧会」、「六郷満山開山1300年」（大分）など話題も豊富で国内外からの多くの来訪者でにぎわっている。特に訪日インバウンドは極めて順調で、494万人という過去最高を記録した昨年を上回る勢いで伸びている。

今後の九州観光の発展のためには、恵まれた観光素材を有機的に結び付ける仕組みづくりが重要だ。九州観光推進機構が掲げる「九州はひとつ」の理念のもと、ツーリズム産業に関わる全ての人が行動することが、九州独自の「九州ならではの価値」を創出していくことになると思う。わたくしも九州の皆さんとひとつになって九州観光発展のために努力していく。

一方、さまざまな観光素材に恵まれ過ぎて、逆

中国四国広域代表
執行役員　大小田　博之　氏

旅ホ連と連携、交流拡大へ事業創出

今年度4月から半年間、JTBグループでは、中国5県を舞台に「日本の旬　瀬戸内・山陰」キャンペーンを実施している。キャッチフレーズは、「ふたつの海と、心地よい旅舞台」。海、山、街、食、歴史など中国地方ならではの観光資源を磨き上げ、新たなコンテンツを開発し全国および世界へ発信している。

また本年は、「大山開山1300年」（鳥取県）、「松平不昧公没後200年」（島根県）、「瀬戸大橋開通30周年」（岡山県・香川県）、「平清盛公生誕900年」（山口県・高知県）などの記念行事が開催される。これら地域のイベントとも連動し、新しい地域の魅力ややさまざまな旅の過ごし方を提案していきたい。

新生JTBとなって初めての全社キャンペーンであり、必ず成功させたいと考えている。旅ホ連の皆さまには引き続きのご協力をお願いしたい。

また、四国においては、4年ぶりの「道後オンセナート」や「徳島あるでないでキャンペーン」「志国高知・幕末維新博（第二幕）」などへの取り組みを強化するとともに、官民と連携し四国遍路を基軸とした「新たな広域周遊ルート」づくりを推進し、持続的な宿泊増売につなげたい。

新年度に入り、中国四国9県の行政・事業パートナーの皆さまとさまざまな意見交換を行った。地方創生、観光消費額の拡大に対するJTBグループへの期待は極めて高い。私も広域代表として、とりわけ旅ホ連の皆さまと連携し、地域における交流人口の拡大、新たな事業創出に取り組んでいきたい。

JTB沖縄
社長　杉本　健次　氏

「沖縄バリューアップ」を加速、推進

2017年度の沖縄観光は、引き続き好調で、来沖数は過去最高の958万人を記録した。

JTBグループの取り扱いは、その成長スピードをキャッチアップできていないが、前年に続き150万人台を記録することができた。

個人旅行のエースJTBや団体旅行のMICE、修学旅行、インバウンドのクルーズオフィシャルツアーは高いシェアを維持している。

これも貴重な客室在庫の提供や年間を通じたバスの確保、コンテンツの提案などさまざまなご支援を頂戴している旅ホ連沖縄支部連合会やレキオス会の皆さまのお陰と深く感謝している。

18年度は、「空港シャトルバス」の運行など地域の課題解決を通じたストレスフリーな旅の提案や「幻の島への上陸」や「国立公園のヒーリングツアー」などマーケット開発型企画を積極的に展開していく。

今年30周年を迎えるJTB沖縄は、発受一体となった事業拡大を目的にJTB沖縄、JJT沖縄事業部、GMT沖縄営業所を統合し、新・JTB沖縄としてスタートした。新たなミッションは、沖縄におけるグループプレゼンスの向上に資する事業の創造、ならびにグループ各ビジネスユニットとの連携強化によるバリューチェーンでの利益最大化への貢献である。

そのために沖縄を訪れる観光客の満足度向上や地域経済への貢献を目的とした「沖縄バリューアッププロジェクト」を加速、推進していく。

併せて沖縄発の法人・教育・個人グループ営業も強化し全国の宿泊券増売に貢献していく。

新潟県最大級の庭園大露天風呂が自慢です！

おかげさまで創業150周年

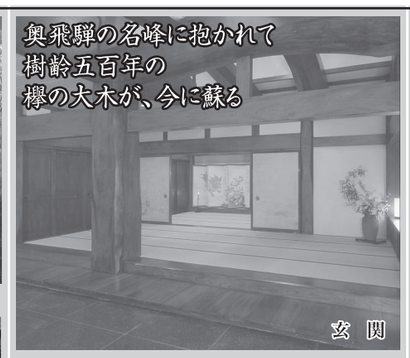
人気温泉旅館ホテル250選　入選
5つ星の宿認定旅館

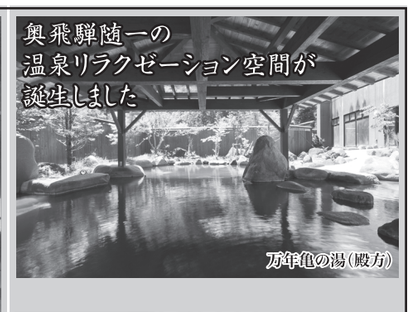
新潟県総合満足度の高い宿 2017 ベスト5
新潟県観光地満足度調査

新潟県五頭温泉郷村杉温泉
風雅の宿 長生館

風雅の宿 長生舘
〒959-1928　阿賀野市村杉温泉
TEL.0250-66-2111
http://chouseikan.co.jp

創業 150 年の歴史を持つ老舗旅館です。全国でも数が少なく貴重なラジウム温泉を県内最大級の広さを誇る庭園大露天風呂や趣の異なる 3 棟の貸切露天風呂でお楽しみ下さい。全室から四季折々の風情が豊かな 4,000 坪の大庭園を眺められ、お料理は季節の旬と地元食材にこだわり、創意工夫と技巧を凝らした全て手作りの和会席料理をご堪能いただけます。





新穂高温泉
穂高荘 山のホテル

新穂高温泉
穂高荘 山月

平湯温泉
穂高荘 山かの湯

ご予約お問合せは
穂高荘ホテルズ・リゾート　営業本部予約センター
〒506-0009　岐阜県高山市花岡町1丁目5-5
TEL.0577-37-1515　FAX.0577-33-5793

ホームページアドレス
http://www.hodakaso.co.jp